

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 6 年度ダム施工機械損料調査業務
業 務 概 要	本業務は、ダム施工の合理化、新しい機械の導入など、ダム施工機械を取り巻く近年の環境の変化に対応して、現場の実態に即した機械損料を算定するための基礎資料を得るために損料調査を実施し、結果のとりまとめ・評価を行うとともに、積算資料としての透明性、客観性、妥当性を確保したダム施工機械等損料の改定案を立案する業務である。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中国地方整備局長 林 正道 広島市中区上八丁堀 6－3 0
契 約 年 月 日	令和 6 年 7 月 1 日
契 約 業 者 名	令和 6 年度ダム施工機械損料調査業務ダム技術センター・日本工営設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都 台東区池之端 2－9－7
契 約 金 額	2 8，7 5 4，0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	2 8，8 0 9，0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙「契約理由書」のとおり
業 務 場 所	広島県広島市中区上八丁堀
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 6 年 7 月 2 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 2 月 2 8 日
備 考	入札情報サービス（P P I） （ https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx ） にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： 令和6年度ダム施工機械損料調査業務
ダム技術センター・日本工営設計共同体

業務の名称： 令和6年度ダム施工機械損料調査業務

契約理由：

本業務は、ダム施工の合理化、新しい機械の導入など、ダム施工機械を取り巻く近年の環境の変化に対応して、現場の実態に即した機械損料を算定するための基礎資料を得るために損料調査を実施し、結果のとりまとめ・評価を行うとともに、積算資料としての透明性、客観性、妥当性を確保したダム施工機械等損料の改定案を立案する業務である。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を行うものである。